

令和 2 年 5 月 19 日
中国電力株式会社

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第 861 回）
島根原子力発電所 2 号炉に関する指摘内容

<技術的能力：可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて>

- 地山と埋戻部との境界部のうち地山に勾配を設けて掘削した箇所について、側方流動の影響を踏まえ、段差緩和対策の要否を説明すること。また、想定を超える段差が発生した場合の可搬型設備のアクセス性に及ぼす影響について、説明すること。
- 浮き上がりが想定される 23 箇所の具体的な対策を資料へ反映すること。
- 液状化による側方流動について、検討位置以外の断面や縦断方向についても検討し、通行に支障がないことを説明すること。
- 送電鉄塔の影響評価方針についてフローで示すこと。また、基礎の形状、支持地盤を示し、どのような損傷モードで抽出しているか系統立てて説明すること。
- 土石流の発生を考慮した泡消火薬剤容器の配置について説明すること。
- ディーゼル燃料貯蔵タンクを使用した燃料抜き取り手順について、有効性評価における位置付けを説明すること。
- 海を水源とした注水の作業時間について、想定時間に対して余裕時間が短いため、時間短縮について検討すること。
- 土石流による人的被害の影響を考慮し、淡水または海水の使用判断基準を説明すること。

以上